

原発がこわい女たちの会  
<http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/>

《 2013年01月 | [トップ](#) | 2013年03月 》

検索

2013年02月17日(日)

 

原発のコスト

アーカイブ

最近、大島堅一さん(立命館大学教授)の著書2冊を続けて読んだ。『原発のコスト』(岩波新書 2011)と『原発はやっぱり割に合わない』(東洋経済新報社 2013)である。岩波のほうは、新書とはいえかなり読み応えがあって、気合を入れて読まねば我がふやけた頭には入って来にくいものだった。大佛次郎論壇賞(12年度)受賞というだけのことはある。これに比べると後者は、ずっと平易感がありビギナー向けといてもよさそうだが、内容的には前者におとらず充実していた。ここでは、『…割に合わない』を中心に述べてみたい。

- 本書の構成は、次のとおりである。
- 第1章 世界史的イベントとしての福島原発事故
- 第2章 なぜ日本は原発大国になったのか
- 第3章 「原発が最も安い電力」というからくり
- 第4章 原発の本当のコスト
- 第5章 使用後の核燃料をどうするか
- 第6章 日本のエネルギーのこれから

福島原発事故の経過、原子力が著しく優遇されてきた歴史をはじめ、日本の原発が抱える問題が総括されており、一つひとつ思い返し納得しながら読んだ。

匠巻はやはり、原発推進の論拠の一つ、「原子力は最も安価なエネルギーである」が論破されている部分である。計算根拠と数値を示しながら、政府発表の発電コスト、モデルではなく実績値に基づく実際のコスト、さらに原発立地対策や研究開発など政策費用を含めた本当のコストと3段階にわけて検証している。

それによると、**政府発表(2004年)の発電コスト**

- 原子力 : 5.3 円/kWh
- 石油火力: 10.2
- 一般水力: 13.6
- 実際の発電コスト**
- 原子力 : 8.53 円/kWh
- 火力 : 9.87
- 一般水力: 3.86
- 本当の発電コスト**
- 原子力 : 10.25 円/kWh
- 火力 : 9.91
- 一般水力: 3.91

さらに！ 原発の最大の難題である使用済燃料の処分。最悪の選択といわれる再処理を含めた核燃料リサイクルの総事業費だけで19兆円。動き出してもいない再処理のための費用の積立金はすでに電気料金に含まれて徴収されている。ちなみに我が家の料金請求書を見たが、一括されていて内訳にはなかった。「省エネ促進賦課金等」は表示されているのに。

そして！ 事故費用の問題。原発のコストは、福島原発事故が起こらないときから一番高かったのだが、いまや政策費用のみならず事故費用を含めて考えなければならなくなった。著者も委員であるコスト等検証委員会において事故費用も含めた原発のコスト計算に挑戦したが、現在進行中の事故で確定できない要素が多すぎるという。未だ終わらない事故の収束費用、損害賠償、そして除染。健康被害対策。いま私たちの目前にあるのは気の遠くなるような(被害者の方にとっては当然の)額の社会的コストだ。電気料金とは別に、国民が支払っている。事故の当事者たる電力会社ですらない。

原発事故は起こるはずが無いという「**安全神話**」がまったくの嘘っぱちであったことを、福島の事故とその後の一連の事故処理の現実をみる中で、私たちは身にしみて学んできた。そして、本書を読む中で、他のエネルギー、火力・水力発電よりも原発のコストが安いという「**安価神話**」もまた嘘っぱちであったことを学んだ。電力会社が原発再稼働をちらつかせながら電気代値上げでゆさぶりをかけてくると、原発をなくすためにはたとえ電気代が高くなったとしても仕方ないと考えていたが、なーんだ、原発のコストのほうが高かったんだ。

大島さんは福井県の出身で、原発は身近に存在し、小学校の見学は原発の広報館、という環境で安全を疑わず育ってきた。だから、チェルノブイリの事故では天地がひっくり返る思いだったそう。そのような生い立ちもあってか、経済学の観点から原発、環境問題に取り組んできた数少ない気鋭の学者である。

「女たちの会」では、奇しくも2011年3月の東日本大震災の直前2月末、大島さんを招いて講演会を開催している。「本当のこと知ろう 原子力のはなし」というタイトルで、電源三法や原子力予算システムという国家財政の後ろ盾があること、原子力+揚水発電で最も高い電源であることをお聞きした。10日余りしてあ

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

の事故だった。

原発は割に合わない電源だと従前から主張されていたことは、福島事故が起こっていつそう明瞭になった。本書を読んで強く感じるのは、どこまでも原発推進を優先し金銭で裏づける財政の仕組みであり、どこまでも原発利権にしがみつく電力会社(原子力むら・原子力複合体)の姿勢である。そしてそのからくりを国民はほとんど知らされてこなかった。原発のコストとして金銭的に評価することで、そのからくり・矛盾というものがはっきりと見えてくる。原発ゼロでは日本の産業は立ちいかなくなる、国外流出で空洞化がすすむ、景気回復がのぞめない、というのめあやしい。粗っぽく言えば、電気代値上がりなど、原発推進のための巨額の費用の一部を化石燃料代に充てればよいだけのこと。

私たち一人ひとりが、お金の流れを認識する、そのことが原発一辺倒の体制を変えていく可能性につながっている。

※「朝日新聞」が2月14日から「教えて！電気料金」の記事を連載し始めた。これも参考になる。(sora)

2013-02-17 | 記事へ | コメント(0)

2013年02月03日(日)

### 小出裕章さん講演会

3.11福島第一原発事故から丸2年をむかえますが、被災した福島の状況はますます混迷を深めるばかりです。「原発」を考える市民公開講座のご案内です。



○日時 2013年3月10日(日)14:30~17:00  
○会場 和歌山市勤労者総合センター6階ホール

14:00開場  
14:30開演・報告 ①使用済みの核燃料中間貯蔵施設に反対する医師の会・龍神弘幸さん  
②原発がこわい女たちの会・松浦雅代さん

15:00講演 小出裕章さん  
「福島第一原発の現状と私たちの未来～原発ゼロ世界へ～」

17:00 閉会

○主催 和歌山県保険医協会/子どもたちの未来と被ばくを考える会  
○参加費 無料 定員180名ですので整理券が必要です。定員になり次第×切りますので、お早めに、ご希望の方は松浦まで。

2013-02-03 | 記事へ | コメント(1)

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

#### 最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民 守 正義(08/21)
- そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
- コメントありがとう by sora (12/05)
- 突然すみません。東京 by 里美(11/22)
- 10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)
- starさんコメントあり by sora (09/14)
- このブログを読むまで by star(09/13)
- こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
- 現在稼働している大飯 by star(04/09)
- 廃炉産業を起こしてほ by kaziwarayosiyuki(03/14)

#### カレンダー

<		2013年02月							>	
日	月	火	水	木	金	土	1	2		
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
	17	18	19	20	21	22	23			
	24	25	26	27	28					

#### 最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発 美浜3号も廃炉に！ 11・13 琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

原発がこわい女たちの会  
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

[トップ](#)

[RSS](#)

ID:

PASS:

サイト管理者 ▼

[ログイン](#)

SSLモードでログイン

BLOGariは2017年1月末  
サービス終了します

RSS 2.0